

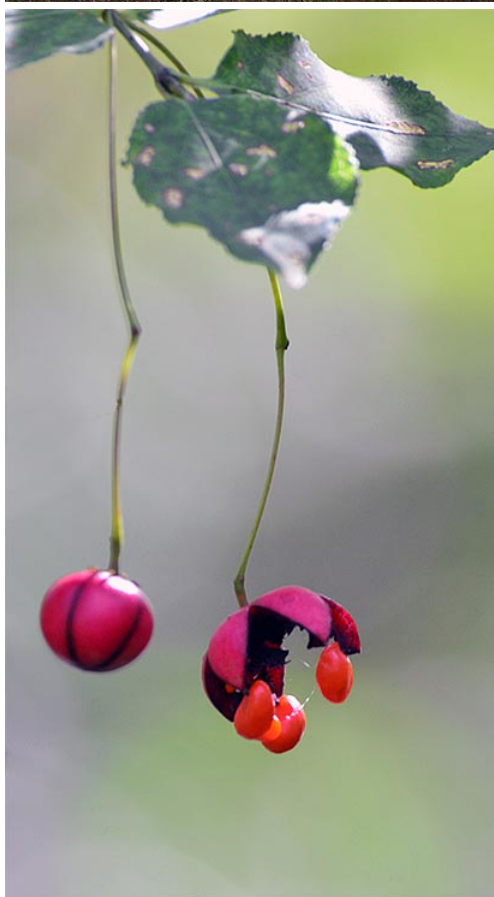
月刊 やちまなこ

2016.10.15 発行

No. 227

10 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

オオハクチョウやヒシクイが越冬のため飛来し、湖で羽を休めている。今年は台風の直撃で湖の水位も高く、餌の水草などが少ない影響で、長く留まる様子もなく、何処かへ移動しているようだ。先日、刈り取りの終えたデントコーン畑にヒシクイの姿が見え、おこぼれのコーンを辺りを気にしながら食べていた。

コッタロ川と湿原のほとりから

196 10月のコッタロ湿原便り

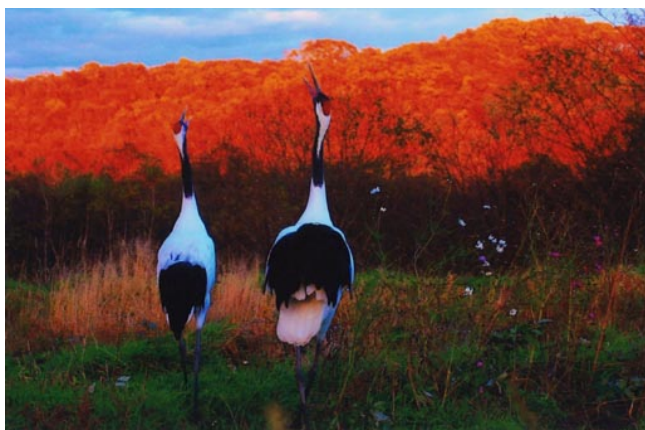
コッタロ在住. 中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

“再びの芽吹き狂わす台風禍” 気候変動著しい近年、初めて北海道に上陸した3つに続いて、度重なる低気圧や気圧の谷、前線通過による目まぐるしい気象の変化で季節はずれの珍現象が続発しているコッタロです。大方の樹木は枝ごと吹き飛ばされた後、めきめきと青葉若葉が再生し5月頃の風景をかもしております。そんな中、特筆すべきは丹頂等の身に起きた異変で、最初8月19日から40日余り交尾を続けていた第2コツ&タロが産卵することなく終え、次に9月9日からは第1コツ&タロの交尾が始まって今日(10日)に至っており、見えない場所にいる第3コツ&タロも交尾の雄叫びだけは聞こえてくるではありませんか。これら珍奇な行動の意味するところは何一つ解明出来ませんが、この春、子育てしてこなかった三つがいによる、せめてもの『お達者アピール』なのかもしれません。

さて、朝の気温も限りなく氷点下に近づいている昨今、冬鳥達の群れが、ぞくぞくと我家の上空を通過して行き“雁渡る声低くして雨となる”。一方、残り少なくなった夏鳥のうち10月7日、ノゴマ♂1羽の飛来に大感激!! 又これより先に小雨ビタキ親子が霧雨煙る庭で、水滴を散りばめたクモの巣を背景に愛くるしいまなこで「別れを告げ」に来てくれたばかり。野鳥等の健気さに深い感銘を受けずにいられませなんだ。

ところで、雨量が殊の外多かった今季、川や湖沼、湿原を見廻っていると、増水した濁流が、なかなか引かず、魚食家達もらくではありません。庭池に狙いをつけた面々がほぼ毎日通っており“つがい来て川蟬秋の魚つかむ” 光景が見られます。

このところ、めっきり姿を見かけなくなって久しい鹿。それもそのはず、10月1日に鹿猟が解禁されて以来、彼等の移動は夜間に集中しており、家の周囲は糞だらけ! これにふんがいしていても仕方ありませんね。“雄叫びのエゾ鹿有害駆除さるる”。



湿原の住人たち その187

カンボク

塘路湖岸や道道 1060 号沿いで 6 月中旬に花を咲かせていたカンボクが、真っ赤な実を付けて秋の風景に彩りを添えています。花期には花より真っ白な装飾花が目立ち、昆虫に花の存在をアピールしているようです。装飾花が似ているノリウツギは、冬もドライフラワーのように残りますが、カンボクは散ってしまいます。先日、野鳥にはあまり人気がないカンボクの実を、エゾシマリスがおいしそうに食べているのを目撃しました。(4 ページ写真)



台風の影響と狂い咲き

台風の影響で 8 月 20 日から通行止めだった道道 1060 号塘路原野クチョロ線は 9 月 29 日に通行止めが解除されました。41 日振りに通ってみると、通称スガワラ付近では、川の氾濫や道路の崩壊によって土砂や流木が湿原に流れ込んでいました。長い年月をかけて出来た今の湿原ですが、簡単に姿を変えてしまうものだと、あらためて思い知らされました。また、台風後に桜の狂い咲きを見聞きしましたが、スガワラの川岸にあるエゾノコリンゴも花を咲かせました。10 月に咲いてしまった花と葉、春の成果の実と枯葉が同じ木に付いている不思議さでした。



釧路川スガワラ付近 9/30



左写真道路を挟んで右側の湿原 9/30



エゾノコリンゴも狂い咲き 10/10

つぼっちの塘路湖周辺うろうろ日記 Vol.93「計画から5年越しの完成」

塘路湖畔歩道のマサコヤノシマ広場にある竪穴住居。これは標茶縄文会が平成 26 年から作り始めたもので、今年の 10 月 2 日にやっと完成しました。元々は標茶縄文会発足 5 周年企画として平成 24 年から計画されたもので、竪穴製作は材料も含め全て会員たちのボランティアにより作業が進められました。私自身も標茶縄文会の会員であることから、ずっと傍で作業を見つめてきました。いざ作り始めると竪穴を覆う“葦”が目の前にたくさんありながら、国立公園内のため刈り取る事ができず遠く標津町の葦を手に入れたり、暴風で竪穴住居の屋根材が飛ばされ見に来た人から苦情を言われたりと、作り上げる楽しさとは別の様々な経験もしましたが、完成を見ると感慨深いものがあります。

今は動物が入るのを避けるため入り口を板と簾で覆っていますが、中をのぞいてみると真っ暗！。これが縄文の竪穴住居の暗さだと感じます。どうぞ遊びに来た際には、入り口から中を覗いてみてください。 坪岡 始（標茶町郷土館学芸員）



10・11月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

秋のバードウォッチング

[日時] 10/30 (日) 10:00~12:00

〔定員・参加料〕 15名・無料

「持ち物」あれば双眼鏡、天候にあわせた服装と靴

「集合場所」 憩の家かや沼駐車場

ムックリ（口琴）を作ろう

[日時] 11/5 (土) 13:00~15:00

〔定員・参加料〕 15名・300円

〔集合場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ 申し込み問い合わせは 塘路湖エコミュージアムセンターまで TEL 015-487-3003

ザリガニウォッチング2 ～ニホンザリガニ編～

[日時] 10/16 (日) 10:00~12:00

晩秋の湿原ハイク

〔日時〕 11/6 (日) 10:00~12:00

 申し込み問い合わせは 温根内ビジターセンターまで TEL 0154-65-2323

塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【植物】(9/16)アキノウナギツカミ・キクイモ (9/20)ミズナラとオニグルミの実 (9/30)カンボク・ツルウメモ
ドキ・イチイ・カラフトイバラの実 (10/8)エゾノコリンゴの花 (10/9)キハダ・コウライテンナンショウ・ツ
リバナ・ネムロブシダマ・アズキナシの実 (10/11)ヤマブドウの実

【鳥】(9/19)マガモとヒシクイの群れ、オジロワシ、タンチョウ (9/30)ノスリ、ノビタキ、アカゲラ (10/3)カルガモ、ヨシガモ (10/6)オオハクチョウ (10/8)コマドリ、シマエナガ (10/10)タンチョウ親子、コゲラ、アオサギ、コガモ (10/11)ユリカモメ、オンドリ、カワセミ、キバシリ、カワウ (10/14)オオバン、キンクロハジロ

【その他】(9/19)エゾシカ (9/20)キトンボ、マユタテアカネ、ヒメリスアカネ (9/30)エゾシマリス、エゾアカガエル (10/9)マユミの実を食べるハシブトガラス (10/11)モンキチョウ、エゾリス、アメリカミンク、アキアカネ、
標茶町で最低気温氷点下3.4度を記録

■日没が早くなりました。車で湿原を観光する方は、早目点灯と安全運転を心がけ、エゾシカの飛び出しにもご注意ください。最低気温が氷点下一桁を記録し、朝晩と日中の寒暖差が大きい時期です。散策は防寒対策をしてお出かけください。

◆ 日出・日入時間 10/15(5:36, 16:40). 10/31(5:55, 16:16). 11/14(6:13, 16:00)



冬眠間近のエゾシマリス (9/30)

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこつと

☎088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間 10:00～17:00 (11月～3月は16:00まで)

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日 入館無料